

# 公共施設マネジメント市民説明会『みんなで考える「公共施設のみらい」』

## 説明会概要及び質疑応答について

### 【説明会概要】

実施日付：令和5年7月15日から令和5年8月30日

会場：各市民活動センター（7箇所）

説明内容：別添資料のとおり

### 【質疑応答】

#### ○公共施設全般について

質問の要旨	東松山市の人口ビジョンでは、2045年には81,000人程度となり、1万人の人口が減少することとなっているが、それに伴い市の公共施設についても見直しを行っていくことになるのか。コンパクトシティ化などの方針も示されているが、公共施設等総合管理計画もリンクしていくのか。
回答	公共施設等総合管理計画の策定時には、都市計画マスタープランや立地適正化計画の内容に基づき、検討を行っております。将来的に計画の内容が変更された場合には、公共施設等総合管理計画についても見直しを行っていく予定です。また、人口の変化による施設の利用状況やニーズの変化が予測されるため、更新等の際には現在と同規模で行うのではなく、皆さんと話しながら必要な機能を検討していければと考えております。

質問の要旨	安心して利用できる公共施設という部分について、公共施設の適正化を図っていきますとあるが、公共施設の適正化とはどのようなことか。 学校関連で適正化というと、統廃合を指すことが多いが、公共施設の適正化とは、一部の施設を廃止することを指しているのか。 将来的に施設がなくなった場合、遠い施設を利用することは難しくなる。できるだけ施設を残していく方向で、公共施設を大切にするためにスピードをもって対応して欲しい。
回答	適正化については、いろいろな意味がありますが、大きな部分では限られた財源の中で多くの公共施設を維持していくためには、維持可能な公共施設の規模に縮小していくことが考えられます。現段階での方針として、更新の際に必要とされる機能を検討したり、共用できる機能を検討することにより、施設の総量適正化を図っていければと考えております。

質問の要旨	公共施設の長寿命化を行うことへの前提として、古い施設の耐震化については、完了しているという考えてよいか。
回答	市が保有する公共施設の中で、不特定多数が利用する施設や学校などについては、新耐震基準を満たしていると認識しております。

#### ○説明の内容について

質問の要旨	今回の説明会の目的は何か。財源が減少し厳しいから、公共施設の老朽化が進んでも文句を言うなということか。
回答	今回の説明の目的としては、今後、公共施設を改修や更新する際には、どのような公共施設にしていくか皆さんと協議しながら進められればと考えております。その準備として、市の公共施設の現状や維持管理の方針などを知っていただくことを目的としております。

質問の要旨	事後保全から予防保全への転換についての考え方については理解できるが、転換するためには多額の費用が必要になり、予防保全へ転換した後に、維持管理費は圧縮できるようになる。5年程度はかなり力を入れて実施しなくてはならないが、実施可能か。
回答	施設の改修時期などを検討した個別施設計画を令和2年度に策定し、10年間かけてで事後保全から予防保全へと転換させる計画となっており、現在取り組んでいる最中になります。計画とおり進んでいない部分もありますが、転換していけるよう努力して参ります。

質問の要旨	資料では、建築後30年以上経過した公共施設についての記述があるが、マンションなどの耐用年数が50年程度と言われている。資料にある30年というのは、耐用年数まで維持するための対策を講じる準備のタイミングという認識でよいか。
回答	鉄筋コンクリート造の建物などは、一般的に耐用年数が60年程度と言われており、建物の建築から30年を目途に大規模な改修が必要になるとされており、資料では、大規模な改修が必要となる築30年を目安として、市の公共施設の状況を説明させていただきました。

○その他

質問の要旨	自治会館の改修や更新については、市の補助金が支給されているが、自治会館は準公共施設として捉えてよいか。今後、財政が厳しくなるという中で、自治会館を新たに建築して大丈夫なのかという心配がある。
回答	自治会館については、市が管理する公共施設には該当しておりません。そのため、自治会館の内容については、所管する地域支援課へご相談いただければと思います。

質問の要旨	唐子のソフトボール場について、水路が詰まることが多く、大雨時には溢れることが多い。改善していただきたい。
回答	水路につきまして、この場でのご回答ができません。今回いただいた内容につきましては持ち帰りまして、所管課に引継ぎさせていただきます。